

令和 8 年度 (2 0 2 6 年度)

事業計画



学校法人 鴨谷学園 鳳幼稚園

〒593-832 大阪府堺市西区鳳中町5丁156-3

TEL 072-262-0033

FAX 072-262-0101

E-mail otori@poem.ocn.ne.jp

ホームページ <https://www.otoriyouchien.jp>

鳳幼稚園の教育

開園14年目を迎えた鳳幼稚園は、未来社会を担う子どもたちに限りない夢と希望を抱いて、下記の教育目標のもと、一人ひとりの子どもの個性を大切にしながら独自のカリキュラムにより、日々の保育実践に取り組む。

1. 幼児期にふさわしい生活習慣を育てる。
2. 恵まれた環境の中で、豊かな感性を育てる。
3. 友だちとの生活を通して、優しさと思いやりの心を育てる。
4. 地域・学校園との連携を図り、心身ともに健康な子どもを育てる。

鳳幼稚園は

◎どきどき・わくわく・うきうき 意欲満々・興味津々の幼稚園です。

◎みんなの笑顔と笑顔がぶつかり合う楽しい幼稚園です。

◎全園児が『幼稚園大好き』で登降園できる幼稚園です。

…… 研修の実践 ……

教職員の資質向上を目的とした公開保育を含め、園内研修を下記の通り計画的に推進する。

① 公開保育の実施

令和3年度に全日本私立幼稚園幼児教育研究機構による公開保育（全クラス）を活用した幼児教育の質向上システムである ECEQ@を実施した。そのことにより教師一人ひとりが自身の保育に対して見つめ直すことができた。「継続したいところ」「自身の保育の課題」を把握することができた点は大きな成果であった。また、全クラスが公開保育をすることで全職員が自分自身の保育に対する考えや園全体の課題について話し合う機会を多く持てたことも大きな成果であった。

その経験がもととなり、全クラスが公開保育を毎年行い、近隣の小学校管理職及び堺市教育委員会指導主事、他園の先生方をお招きし講評いただいている。

令和8年度も引き続き堺市教育委員会指導主事、近隣小学校校長、堺市私立幼稚園連合加盟園、理事の方々に参観いただき、講評をいただく予定である。

② 園内研修の充実

- ・園内研究保育（年度初めに実施時期を決定し全員が行えるよう計画的に進める。）
- ・園外専任講師による実技研修の実施

音楽研修・・・塩田喜代美先生をお招きし、日々の保育活動での音楽指導力の向上を図ると共に、音楽発表会に向けてのアドバイスとご指導をいただく。

絵画研修・・・舟井賀世子先生をお招きし、日々の絵画指導力の向上と絵画を通しての子ども理解力の向上を図ると共に、作品展に向けてのアドバイスをいただく

※令和7年度全国教育美術展にて入選者多数
特選1名入選6名佳作2名

③ キンダーカウンセラーによる園内研修

- ・子ども理解について
- ・発達障害等について

④ 園外研修への積極的参加

- ・大阪府教育委員会、堺市教育委員会、大阪府私立幼稚園連盟、堺市私立幼稚園連合会主催の各研修会

⑤ 3園合同の新規採用者研修

心をこめて手作りの温かみを贈る

☆卒園アルバム

幼稚園生活の懐かしい場面を写真に収めて1冊の思い出のアルバムに完成させる。
先生たちからは心のこもった寄せ書き・イラスト・一言メッセージなど、一人ひとりにふさわしいオリジナルアルバムである。ページによっては、子どもたちのカットも登場する。

☆お誕生カード

お誕生月のお友達には、担任からの手作りのお誕生カードをプレゼントしている。

廃材利用の制作

空き箱、ペットボトル、布切れ、ラップ芯などのさまざまな廃材を生かしてがらくた制作に取り組んでいる。保護者の方々に協力いただいた多種の廃材を活用し制作活動を楽しんでいる。

専科教員による体操・英語の指導

体操の専科教員の指導により、専門性を生かした優れた指導力は、体操大好きな子どもを育てるものとする。

英語は、国際化の進展する中で日本語と同様に大切な言葉であり、ECCのネイティブ講師による楽しい遊びを通しての英語指導を行う。

令和5年度より、りんご組（満3歳児）と鳳メノール2歳児クラスの子どもたちを対象に合同で月1回の《ECC 英語で保育》を実施している。5月開始で年間10回実施を計画している。

鳳幼稚園の給食

幼児期の「食」との出会いや人とのかかわりは、子どもの「食」に対する感性を育て、生涯にわたっての食行動や食習慣に大きな影響を与えるものである。

鳳幼稚園では、子どもたちの個人差を考慮しながら、給食を通して「基本的な正しい食習慣」が身に付くように食事指導も含めて取り組んでいく。

清潔・安全をモットーにした自園給食

衛生的で設備の整った調理室で、調理員が徹底した安全管理のもと、月～金の週5日間調理する。（但し、第2・第4金曜日はお弁当日）

心を込めた手づくりの給食

毎月のメニューは、3園の管理栄養士が中心となって作成している。栄養のバランスや子どもたちの嗜好を考慮し、季節の食材を多く使う等、季節感を取り入れた調理の工夫を行う。そして、子どもたちにとって「おいしい給食」を提供できるよう心をつくす。

安心安全な食材の使用

着色料・保存料・その他の添加物については、心配のない食材に心がけ調達し、また、野菜や果物も、新鮮で安心できる物を、信頼できる業者から仕入れることとする。

心を込めた手づくりの味

子どもの健康等を考え、薄味で素材の味を生かした味つけをしている。また、切り方も工夫し、子どもたちが食べやすいように調理する。

個人差を考慮した給食指導

食欲や体調・発達段階等、子ども一人ひとりの実態を把握した食事指導に心がけている。残さずに食べる、作ってくれた人への感謝等基本的な食事のマナー指導も行う。

アレルギーの子どもへの対応

卵・乳製品・小麦その他いろいろな食物にアレルギーのある子どもへの細やかな対応を行うことをめざし、保護者と連携し、除去するだけでなく必ず代替品を提供する。

「食」にかかわる情報の提供

毎月の「園だより」を通して、子どもの「食」についての情報や給食レシピを提供していく。また、給食参観や給食試食会を開催し、保護者の皆様に給食の実際をご覧いただく機会を設ける。

園児の安全確保に備えて、安心していただける安全対策

子どもたちの園内生活については、心身の健康と安全を第一として、その対応に万全を期して取り組んでいく。

① 非常時に備えての避難訓練を行う。

不審者侵入訓練（教職員のみで警察官に指導を受けて実施）

火災発生、地震発生を想定しての訓練

大阪 880 万人訓練に参加

災害発生を想定して園児引き取り訓練の実施

※災害時の連絡先、お迎え予定者等の連絡票作成

② 園舎の耐震強度については、専門業者に厳密な点検を依頼し安全確保に努める。

③ 交通安全教室の実施

堺市の交通安全教室の実施、および令和 4 年度より鳳電車区の協力により安全な踏切の渡り方について教えていただいている。

④ 不審者侵入対策

外部からの侵入者の対策は厳重に行う。8 台の監視カメラによって園内外の状況を的確に把握し、外来者については、インターホンの応答と監視カメラの映像で確認し、電気錠をあける仕組みをとっている。保護者は、来園時には名札の着用をお願いする。警備会社セコムとの契約に非常時の緊急連絡システムを導入している。

⑤ 園周辺の巡回

園周辺に危険な状況はないか教職員の巡回を確実に行う。

⑥ 登降園管理システムの導入

登・降園時の安全確保については、保護者の皆さまと教職員の引継ぎを確実に行う。

⑦ 安全点検

施設・設備・備品の安全点検は、毎月 1 日に実施する。

⑧ 園児の健康管理

園児の体調の変化・怪我については、的確な判断のもとに、ご家庭と十分に連絡を取りながら、適切な対応に努める。

園児持参の薬の服用については、各担任が確認の上、保健担当者が集中管理をし、一人ひとりに間違いのないように服用させる。

保護者の皆様に参観いただく行事

月	行 事	内 容
4	入園式 家庭訪問	・新入園児の保護者のみなさまはご列席、子ども達の入園を祝福する。 ・また、途中入園児のお子様も参加する。 ・ご家庭を訪問し、園内生活において配慮する点などについて話し合う機会を持つ。
5	保育参観 親子で遊ぼう大会	・クラスでの保育の様子をみていただく。 ・家原大池体育館にて親子で楽しく運動やゲームに参加
7	プール参観 個人懇談 夏まつり お泊り保育	・プール遊びの様子 保護者は自由参観 ・子どもの園内生活について、担任と話し合いの機会を持つ。 ・家族のみなさまも参加して夏のひとときを過ごす。 ・年長のみ、幼稚園でのお泊りを体験する。
9	給食参観 敬老の日の参観	・給食の様子を参観（年少組）及び試食会参加 ・祖父母の方々をお招きして敬老の日の集いをする。
10	運動会	・子ども達の競技・演技の発表 ・保護者参加の競技も実施する。
11	作品展	・子ども達の絵画と制作物の参観 ・いろいろな素材を利用して家族で造形活動を楽しめるよう工夫する。
12	個人懇談 英語参観	・子どもの園内生活について、担任と話し合いの機会を持つ。 ・ECC 英語活動の様子を参観
1	保育参観	・日常保育の様子を参観
2	音楽・生活発表会	・音楽と劇遊びを中心とした発表会
3	ラグビー大会 ボールゲーム 卒園式	・クラス対抗のラグビー大会（年長） ・ドッジボール大会（年中） ・年少は体操の1年間の成果をみていただく。 ・年長組の保護者はご列席、子ども達の巣立ちを祝福する。
お子様の誕生月のお誕生会に、幼稚園に来ていただき、共にお祝いをする。		

課外教室

保育終了後、ご希望の方は次のようなレッスンに参加できる。

また、それぞれ、専門の先生が指導を担当する。

☆ピアノ・子ども英語（ECC）・硬筆・体操・サッカー・新体操

鳳のまちに似合った・・・子育て支援事業

幼保一体化の言葉が賑やかに報道される中、幼児期の子どもにとって最もふさわしい教育環境を次のように考えて実施する。

① 始業式・終業式のみ短縮保育

始業式や終業式などは、堺市立小学校に合わせて保育日数の確保に努めている。

保育日数確保のため、各学期共、終業式前日まで普通保育となり給食も実施する。

② 保育日数と保育時間の確保

単に子どもを幼稚園でお預かりする時間を長くするのみに止まらず、園内の活動時間の配分に十分配慮を行う。

1. 休養と活動
2. 設定保育と自由遊びの配分
3. 室内遊びと園庭遊びの配分
4. 自由な一人遊びと集団遊びの環境設定
5. 一年間を通して季節遊びを大切にしたい遊びの工夫

子どもは遊びを通して育つと言われているが、幼児期の子どもの遊びを充実発展させるものは保育者との望ましい関係が大切である。子どもと共に遊びを楽しめる保育者を目指して、保育日数・保育時間の確保に努める。

保護者の皆様方に安心していただける「鳳幼稚園」として、時代のニーズにふさわしい取り組みを求め研鑽に励む。

③ 小さいお子様とご一緒にご来園の方への配慮

- ・おむつを換えられる部屋および安心して授乳できるよう、授乳室を設ける。
- ・園行事には、ご家族皆様方のご来園をお待ちし、ご高齢の方々にもご利用いただけるエレベーター、車いす対応のトイレを設置している。

④ 自由登園 友達つくろう・みんなで遊ぼう

みんなの大好きな「鳳幼稚園」で遊べる土曜日および夏休み中に自由登園を設定する。登園を希望する子どもたちが集まって、普段の保育では経験できない遊びを存分に楽しむ。

⑤ 家族登園 ふれあいの輪・大きく広げよう

家族登園は、子どもだけでなく希望されるご家族のみなさまも一緒にお越しいただいていろいろな活動を楽しんでいただく機会となる。

主な内容（2025年度 実績）

5月	絵本の読み聞かせ、積み木ショー
12月	クリスマスケーキ作り
3月	ふれあい広場、同窓会（前年度卒園生）

⑥園庭開放 つながりを広げよう

平日の水・木・金曜日、14:30～15:00までの30分間および園行事のない土曜日は9:00から14:00まで、在園児はもちろん、地域の子どもを中心とした安心で安全な遊び場の提供を実施する

※但し、必ず保護者同伴にて参加しいろいろな家族との交流を図る。

⑦子育て広場 地域の子育て支援事業への協力

隣接する地域の教育会館で毎週月曜に実施されている子育て広場に教職員が出向き地域の子育て中の親子と触れ合い、子育て支援事業の一役を担うとともに地域とのつながりを広げるように努める。※8年度より毎月2回開催

⑧子育てさんあつまーれ

就学前施設に入っていない乳幼児親子が気軽に園に集まって遊んだり、子育てに関する情報を共有したり、同じような年齢の子ども同士が触れ合う時間を作ったりできる機会の提供をしている

月2回の実施（無料）で、たくさんの親子が参加し、楽しんでいる。

※2回の内、1回は園庭開放

預かり保育 〈ヒラソル〉

2号認定の園児と、預かり保育を希望のお子様に、預かり保育を実施する。

場 所 : 預かり保育室

時 間 : 通常保育 14:30～18:00

短縮保育 12:00～18:00

(始業式・終業式・修了式)

長期休暇・振替休日 8:00～18:00

早朝預かり 7:00～ 8:00

延長預かり 18:00～19:00

土曜日保育 8:00～18:00

保育料 : 1回につき 500円

早朝預かり 1回につき 300円

延長預かり 1回につき 300円

短縮保育時預かり 1回につき 800円（給食あり）

長期休暇・振替休日 1回につき 1,500円（給食あり）

土曜日 1回につき 2,000円（お弁当）

※土曜日は8:00から18:00までの預かりとなる。

※ご希望の方のみスクールバスでお送りする。（月～金のみ）※園バス利用園児のみ

バス代 : 1回につき 400円

降 園 : 預かり保育時間内に、保護者の方のお迎えをお願いする。

※幼稚園型認定こども園移行に伴い、長期休業中（冬休みは除外）だけでなく短縮保育期間も給食を実施する。

子育て相談会・キンダーカウンセリング

子育て支援活動の一環として、下記の相談会やカウンセリングを毎月1回行う。

- ・公認心理士によるキンダーカウンセリング
- ・園長による子育て相談を随時、実施する。(子育て相談員認定講座修了)

子育ての悩みや心の問題も含めて専門的な相談ができ、保護者の皆様の手助けになればと願っている。

小学校入学までの教育を幼稚園教育に求められる傾向の中で、保護者の方々のニーズに十分にこたえられるように取り組む。